



2022-2号
令和4年7月

発行所 独立行政法人国立病院機構 西別府病院
住 所 〒874-0840 大分県別府市大字鶴見4548番地
TEL 0977-24-1221(代表)
FAX 0977-26-1163(代表) 0977-76-7231(連携室)
ホームページアドレス [http\(s\)://nishibeppu.hosp.go.jp](http(s)://nishibeppu.hosp.go.jp)



おおいた農業文化公園のネラモフィラ (撮影者:企画課長 岡辺 俊介)

目 次

令和4年度を迎えて	2	新任のご挨拶.....	6
新任のご挨拶 (医師・幹部紹介)	3	退任のご挨拶.....	8
病棟増築整備工事 (東病棟) 完成について.....	4	もっと知りたい! 西別府の仲間.....	9
新 CT 装置について	5		

理 念 私たちは、常に研鑽し、患者さまのために最良の医療を提供します

基本方針 1. 患者中心の医療 2. 患者の権利と尊厳を守る 3. 政策医療の推進 4. 地域医療への貢献
5. 最良・安全医療の提供 6. チーム医療の推進 7. 経営基盤の確立

患者さまの権利 1. 良質で安全な医療を公平に受ける権利 2. 十分な説明を受け、質問する権利
3. 自分で医療の内容を決定する権利 4. プライバシーを保護される権利
5. カルテ開示を受ける権利 6. セカンドオピニオンを受ける権利 7. 臨床研究への参加と拒否の権利



日本医療機能評価機構
認定番号: JCI1505号

令和4年度を迎えて



院長
後藤 一也

西別府病院の広報誌をご覧ください誠に有難うございます。平素は大変お世話になっており感謝申し上げます。令和4年度も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

病院周囲の桜が咲き誇る中、退職者、転出者を送り、新採用者、転入者を迎えて新年度が始まりました。病床再編初年度となる今年度は文字通り病院にとって新たな門出の年度となります。

再編後は、東1～5病棟の5病棟で運用し、病床数272床、うち結核12床、療養介護病床220

床の構成で、下記にお示ししました令和4年度の運営方針に則り、目標を達成し、セーフティネット系医療により特化し、医療とともに福祉サービスの質向上を目指していく所存です。

掲げた目標が達成できたかどうか、その評価は、患者さんやご家族のお声はもちろんのこと、関連施設の方々からの忌憚のないご意見が何よりの目安となります。今後とも引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

令和4年度 病院運営方針

目的 より良い医療・福祉サービスを提供し、セーフティネット系拠点病院としての役割を果たす

方針 令和4年度からの新たな病棟体制のもと、理念と基本方針に則り目的を達成する。職員にとって必要な研修体制を構築し、専門性の向上を通じて、職員ひとり一人が職責を果たし、職員にとってやりがいのある、働きやすい病院をめざす

- 目標**
1. 病床運用の円滑化
 2. 収支の黒字化
 3. 専門知識と技術の向上
 4. 療養担当規則等の規程遵守と診療報酬請求の精度向上
 5. 新型コロナウイルス感染症と監視病原体の感染対策の徹底
 6. 適正な接遇と職員協働による虐待防止の徹底
 7. 規程と手順の遵守を通じた医療安全の推進

新任のご挨拶 (医師・幹部)

※その他新任職員挨拶は8ページから掲載



呼吸器内科医師
牛 嶋 量

4月1日付で大分赤十字病院より赴任してきました呼吸器内科の牛嶋量一と申します。

大分の県北出身で中学の途中からは福岡、長崎で過ごし、大学から故郷である大分に戻って来ました。卒後は大分大学医学部附属病院、大分県立病院、豊後大野市民病院、厚生連鶴見病院、大分赤十字病院と大分県内の急性期病院で勤務しておりました。元々感染症診療に興味があったため、今回西別府病院で結核診療に従事する機会をいただいたことを非常に嬉しく思います。別府市は人口当たりの外国人留学生数が全国的に多く、結核蔓延国から来日されている方も数多くいらっしゃいます。厚生連鶴見病院でも外国人留学生の結核診療に携わることがありましたが、西別府病院では耐性結核の外国人患者さんなど治療に難渋する症例を数多く診られています。

半年間と限られた時間ではありますが、学んだことを生かしてこれからの地域の結核診療を担っていきけるよう、精一杯努力します。何卒よろしく願いいたします。



看護部長
竹之内須賀子

4月1日付で、菊池病院より異動で参りました看護部長の竹之内と申します。西別府病院には10年ぶりの勤務になります。異動にあたり大分自動車道を車で走行してきましたが、霧との遭遇や、車中でもわかる微かな硫黄の香りを感じ、別府に戻ってきたことを実感しています。また、院内を回ると懐かしい職員の皆様にも逢うことができ、声をかけていただき心なご和む自分がいます。

しかし、10年の歳月の間には新病棟の完成、昨年度は病棟再編に伴う増築工事も行われていますが、特にこの2年間は、COVID-19というパンデミック対応があり、セーフティーネットという特殊性ゆえの大変なご苦勞もあったと思います。しかしながら、当院は皆様のご協力を得てクラスターの発生もなく、この4月を迎えることができています。皆様のご協力に感謝しかないと考えています。

現在はウクライナ侵攻もですが新興感染症の対応など先の読めない不確かな時代であり、この中で医療を取り巻く環境はさらに変化すると考えています。危機管理意識を維持しつつも、まずはWith COVID-19を意識した体制を構築していく必要があると考えています。

このような環境下ではありますが、看護はどのような健康状態であっても、人生を生きる一人の個人として看ることを視点としています。行動規範となる考えにはぶれなく一人の生活者として療養されている方々に関心を寄せ、いのち・暮らし・尊厳をまもり、信頼にこたえる質の高い支援を多職種の皆様とともに創造的に取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

病棟増築整備工事(東病棟)完成について

事務部長 清水 就人

令和3年7月13日に着工した病棟増築整備工事(東病棟)が、令和4年3月20日に完成し、令和4年3月29日で病棟移転も無事終了し、令和4年度の病棟再編を計画どおり実施することができました。当工事は、東病棟の1階(東1病棟)に10床の結核病床、2階(東2病棟)と3階(東3病棟)にそれぞれ5床の一般病床を増築し、増設される病室は全室個室とする計画でした。病棟再編に伴い中病棟の中2病棟(一般46床)と中4病棟(結核50床)を閉鎖しました。この閉鎖により中病棟の全病棟が閉鎖されたことから、令和4年度から当院の入院病棟は東病棟1棟(272床)になりました。令和4年4月1日現在の病棟の内訳は、表1のとおりとなっています。

結核病床については、当初10床で計画していましたが、大分県や大分県結核医療体制会議での協議の結果、令和4年度に限り12床運用していくことになりました。当院の結核病床50床を10床に縮小するにあたっては、県内の第二種感染症指定医療機関及び結核患者収容モデル病床を有する医療機関の協力が不可欠ですが、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない状況において、上記協力医療機関での受入がスムーズにいかないことも予想されるため、令和4年度に限り2床プラスしての運用としたものです。2床プラスするにあたり、個室で建築した病室2部屋にベッドを2つ入れての運用とせざるを得なくなりました。医療法上の問題はないのですが、1人当たりの面積が狭くなりますので、2床室の患者様につきましては、快適な環境をご提供できず申し訳なく思います。

増築部分については、階毎にひとつの看護単位として運営しています。しかし、既設建物と今回増築された建物を区別するため、増築建物部分の呼び方を、増築を意味するExtension(エクステンション)のEをとって、東1病棟E、東2病棟E、東3病棟Eとしました。また、東1病棟Eの入口については、既設病棟

内からの入口と渡り廊下からの入口の2か所になりましたので、既設病棟内入口を「中入口」渡り廊下からの入口を「外入口」という呼び方にしました。

工事に伴いヒアリングパークの整備もされました。東病棟Eが増築された分、ヒアリングパークの面積は減少しましたが、歩道が整備された結果、車椅子の快適な移動が可能となっております。

今回の病棟再編は、病棟を集約し当院の経常収支を黒字化することが目的です。令和4年度はその過渡期となり、病棟再編に伴う混乱も予想されますが、ひとつひとつ課題をクリアしながら、職員一丸となって、西別府病院の発展に万進していきたいと考えています。

(表1)

	病床数	既存部分		増築部分	
		療養介護	一般	一般	結核
東5	50床	23床	27床		
東4	52床	51床	1床		
東3	57床	51床	1床	5床	
東2	55床	50床		5床	
東1	58床	45床	1床		12床
合計	272床	220床	30床	10床	12床



新CT装置について

診療放射線技師長 鴛海 勝治

西別府病院は、令和3年2月にCT装置、令和3年3月に一般撮影装置を更新しました。(図1)

令和3年4月末に、新型コロナウイルス感染症対策のための病床確保に係る医療機器整備の補助として令和2年度第三次補正予算でCT装置を更新しました。

対象は環境整備、医療機器整備(大型を含む)、その他の医療機器等様々で、予算執行を早期に図る必要があり、通達後の1週間後が申請期限という短期スケジュールでした。当院が補正予算の対象となった理由は、新型コロナウイルス感染症に対応するための受け入れ準備をしていたからです。行政から依頼された対象の患者(入院中の神経難病、筋ジストロフィー、重症心身障害児(者)や、在宅で療養を受ける重症心身障害児(者))が感染症に罹患したケースです。そこで、CT装置の予算獲得を優先に考慮して申請を行い、令和3年6月に予算化が決定しました。その後、当院に適した装置の選定を行い、令和4年2月にCT装置を更新することができました。以下に装置の特徴を記載します。

Canon社製80列マルチスライスCT装置(Aquilion Lightning Helios Edition)が導入されました。

この装置はドーム開口径が780mmと大きく、最大撮影視野が700mmとなっています。また、寝台が幅広く長くなり左右動機能が追加されたことで、当院の主要な患者である重症心身障害(児)者や、人工呼吸器の装着者、腕の挙上が困難な方などが検査を受けられる場合に、ドームと干渉して撮影が困難であった問題が少なくなり、医療安全の面からも以前より安心して検査が行えます。さらに、撮影視野が広いことで上下左右の広い範囲を撮影することが可能となりました。また、拡大した画像を再構成することもできます。

撮影では、0.5mm×80列のデータを取得します。また、一枚の撮影を0.5秒で行います。旧装置は一枚0.75秒、1mm×16列でしたので、胸部から骨盤部まで撮影時間を30秒程度要していましたが、新装置では10秒程度で撮影することが可能です。従って、以前の装置と比較して撮影時間が概ね半分以下になりました。患者の体動や呼吸動によるアーチファクト(ブレやボケなど画像に影響を与える現象)も軽減され、検査を受けられる患者の安心は勿論のこと、画像を取り扱う医師、操作や介助を行う診療放射線技師等の医療従事者も高精細な画像を安全に得ることができる優れた装置です。

最大の特徴は、Aiを用いたDeep Learningによる画像再構成による被ばく低減機能であり、患者の体格と画質バランスを考慮して最適なX線を出力することで、患者の被ばく線量を約5割低減することが可能です。また、金属アーチファクト低減ソフト等を備えており、体内に挿入された金属によりCTでは欠損していた部位が見えるようになり、多様な再構成ができるようになりました。

肺を撮影する際の特徴として、検診CT機能が追加されましたので、超低線量撮影が可能です。当院の旧装置の平均被ばく線量は、診断参考レベルと同程度の13mGyでしたが、検診CT機能では1.4mGyで撮影できます。胸部人体模型(胸部ファントム)を使用し、超低線量撮影で画像の確認を行いました。下図2と図3に示しますように、Ai再構成によりノイズが大きく減少し、模擬腫瘍が描出できています。

また、前年度より計画的に準備していた一般撮影装置は、令和3年3月に更新しました。

当院は一般撮影室が2部屋あり、従来は部屋毎に異なる装置でした。しかし、規格が統一された同装置となったことで操作および設定が容易になり、業務効率が向上しました。装置の特徴として、X線を受ける部分がCR(コンピューテッドラジオグラフィ)からFPD(フラットパネルディテクター)となった事が挙げられます。CRは蓄積したX線のデータを走査し、コンピューターに読み込んで画像が作られますが、FPDはX線を直接読み取ることで、撮影すると同時に画像が表示されます。これにより、情報の伝達が早くなり、精度が向上したことで、旧装置の4割以上の被ばく低減が可能となりました。

放射線科では、画質を担保した適切なX線量で検査できるように、スタッフ一同でCT検査および一般撮影検査の被ばく線量の低減に努めています。



図1 更新した放射線医療機器 CT装置(左図) 一般撮影装置(右図)

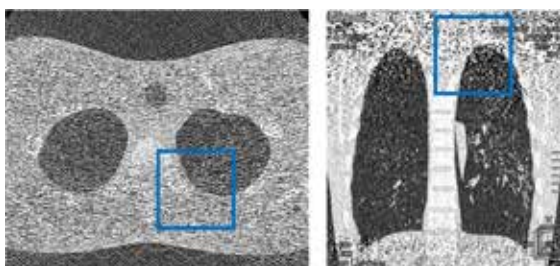


図2 旧16列CTの横断面画像(左図)、冠状断面画像(右図)

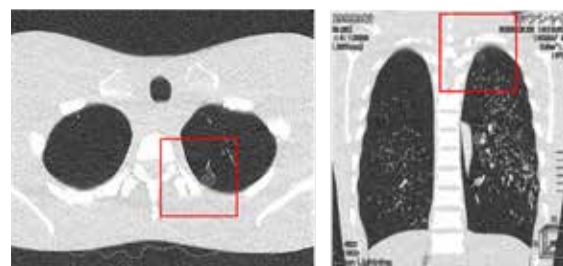


図3 新80列CTのAi再構成による横断面画像(左図)、冠状断面画像(右図)

新任のご挨拶

はじめまして

薬剤部 **青柳 千愛**



このたび着任いたしました薬剤部の青柳と申します。慣れるまで、色々とお迷惑をおかけするかもしれませんが、皆様のお役にたてるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。別府の人々、土地、温泉を楽しみに参りました。おすすめの場所がありましたら、教えていただけますと幸いです。

よろしくお願いします

臨床検査科 **上尾 早紀**



このたび熊本再春医療センターより異動で参りました臨床検査技師の上尾早紀と申します。熊本県での勤務が長かったのですが、出身は大分県で地元の病院での勤務は初めてです。早く業務に慣れ、別府を満喫したいと考えております。よろしくお願いします。

はじめまして

研究検査科 **加藤 真由**



このたび採用となりました研究検査科の加藤真由と申します。社会人1年目ですが、地元大分での採用ですので、別府を満喫しながら、仕事に励みたいと思います。よろしくお願いします。

帰ってまいりました！

リハビリテーション科 **梶原 秀明**



この度、九州医療センターより着任しました理学療法士長の梶原秀明と申します。当院は私の初任地であり、今回で3回目の赴任となります。知った顔も多く、「お帰りなさい」と声を掛けてくださるともアットホームで温かい病院だと思います。定年が迫ってまいりましたが身体の動く限り頑張ります。今後ともよろしくお願いします。

はじめまして

リハビリテーション科 **梶谷 泰央**



このたび国立療養所菊池恵楓園より転任しました、理学療法士の梶谷と申します。5年ぶりの別府暮らしで、温泉を満喫しつつ職務に励んでいきたいと思っています。不慣れなことも多く皆さんに助けを頂くことは多々あると思います。その際はよろしくお願いします。

よろしくお願いいたします

リハビリテーション科 **菊池 慎介**



今年度4月に嬉野医療センターより転勤となりました。作業療法士の菊池と申します。5年前に福岡県大牟田病院に勤務経験があり、療養病床、一般病床での神経筋難病患者さんのリハビリテーションを行っておりました。こちら西別府病院でその経験を活かせたらと考えております。よろしくお願いします。

はじめまして

外来・中材 **藤原ゆかり**



このたび着任いたしました外来・中材師長の藤原ゆかりと申します。日々楽しみながら仕事をやっていきたいと思えます。急性期病院の経験しかないためわからないことが多く、たくさんの方々に相談させていただくことがあると思えます。よろしくお願いします。

はじめまして

東1病棟 **座間味由美**



沖縄病院から着任しました。初めてのことばかりですが頑張りたいと思えます。宜しくお願いします。

よろしくお願いいたします

療育指導室 **三浦 理沙**



このたび着任いたしました保育士の三浦と申します。地元は佐伯市です。約10年ぶりに大分県で暮らすことになり、とても嬉しく思っております。初めての異動でご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

はじめまして

療育指導室 **大野 淳子**



福岡病院より転勤で参りました主任児童指導員の大野と申します。重症心身病棟以外での勤務は初めてで緊張していますが、きれいな景色に毎日パワーもらっています。

日々、笑顔を忘れず勤めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

はじめまして

療育指導室 **村田友希乃**



4月より、宮崎病院より異動してまいりました、村田友希乃と申します。出身は福岡県北九州市です。趣味は野球観戦や音楽鑑賞（J-POPやK-POP）です。はじめての転勤、はじめての筋ジス病棟であり、戸惑いや不慣れな点が多く、患者様やスタッフには日々ご迷惑をおかけしております。はやく皆様の役に立てるよう、一生懸命頑張っていこうと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめまして

療養指導室 **比嘉 春香**



このたび採用となりました、療育指導室の比嘉春香と申します。大分へは初めて来ました。温泉の地、別府に決まり沖縄の家族や友人が旅行で温泉に行けると、それはそれは喜んでます。私自身は、病院勤務が初めてなので、不慣れでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞご指導のほどよろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします

栄養管理室 **佐藤 恭子**



大分医療センターより赴任して参りました、栄養管理室長の佐藤恭子と申します。ご迷惑をおかけすることも多々あり申し訳ありません。早く慣れてお役に立てるよう頑張りたいと思います。安全・安心で患者様に喜んで頂けるような食事を提供できるよう業務に励んで参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

よろしくお願いいたします

栄養管理室 **菊樂 祐太**



このたび着任いたしました管理栄養士の菊樂です。前任地は鹿児島医療センターで、主に脳卒中、心臓病、頭頸部癌（NSTのみ）の患者さんに関わっていました。初めての異動で緊張しているので、見かけたら仕事の事でもプライベートの事でもなんでもお声がけください。趣味は料理と食べることです。お願いします。

お久しぶりです

事務部 **菊池 仁**



4月1日付で経営企画室長に着任いたしました菊池と申します。西別府病院は10年前に3年間お世話になり2度目の勤務となります。自宅が最も近くホームグラウンド的な施設ですので、経営企画室として職責を全う出来るよう今まで経験した力を十二分に発揮し頑張参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめまして

医事課 **渡邊 咲子**



このたび算定病歴係長に着任いたしました渡邊咲子と申します。初めての仕事に四苦八苦している最中ですが、少しでも早く慣れるように努力します。最近飼いだめたハムスターのちくわくんが私の今の癒やしです。小学生の男の子二人の母親でもあります。どうぞよろしくお願いいたします。

退任のご挨拶

看護部長 中尾 とよみ



今年の3月で定年を迎えることとなりました。振り返ってみますと、まだ若かりし頃の患者さん、ご家族とのいろいろな場面が思い出されます。楽しかった事も、辛かった事も、看護師だからこそ経験できた貴重な体験であり、自身の宝物だと思っています。また、管理者になってからも、多くの方々との出会いがあり、皆様に支えていただいた事に感謝しています。

西別府病院では、3年間お世話になりました。最初の1年間は岡山で開催された重症心身障害学会に病院の皆さんと行けた事や院内ボーリング大会、忘年会等楽しい思い出となりました。あとの2年間はコロナ禍で、皆さんとのコミュニケーションの機会が少なく残念でした。

令和4年度から、西別府病院は病棟再編により新しい体制となります。年度末に無事移転が終わりましたが、これからの病棟運営が円滑にいくことを祈念するばかりです。

最後になりましたが、今後の皆様方のご健勝と、西別府病院の益々のご発展を祈念して、退任の挨拶とさせていただきます。お世話になりました。

もっと
知りたい!



西別府の仲間!

栄養管理室 河野 紘子さん



Q 出身地はどちらですか?地元自慢を一言!

A 大分県日出町生まれです。
暁谷城での花見は海と桜のコントラストが最高でした。機会があればお立ち寄りください。

Q 趣味・特技・最近のプチ自慢は?

A 絵を描くのが好きです。
友達の誕生日にその子の好きなコナン風に似顔絵を描いたバッグをあげました。

Q 人生に一度だけやってみたいことは?

A 中華ドラマにはまっているので、中国か台湾に行ってみたいです。

Q 最後に一言

A 東1・2病棟を担当しています。
どうぞよろしくお願ひします。

企画課契約係 後藤 詩和さん



Q 出身地はどちらですか?地元自慢を一言!

A 大分県の豊後大野市です。かなり田舎なので自然豊かです。道の駅にある桃ソフトが美味しいです。

Q 人生に一度だけやってみたいことは?

A 学生の時に出来なかった着ぐるみのアルバイトをやりたいです!

Q 今のマイブームは?

A プルニマのカレーを食べることです!

Q 最後に一言

A ありがとうございました!



独立行政法人 国立病院機構
西別府病院

ホームページは
こちらから →

